



和歌山県立 紀伊コスモス 支援学校 第19回 公開授業・ 公開研究会

連絡先

TEL:073-461-6500

FAX:073-461-7300



<https://forms.gle/g9hsaEjqnoU5TY4K7>

昨年度の「第18回公開授業・公開研究会」では、「『つけた
い力』を育む国語科の授業づくり」をテーマにご報告させていた
だきました。

今年度は、さらに国語科における学習に焦点をあて、本校では
「言葉に着目させる国語科の授業づくり」をテーマに、特別支援
学校学習指導要領国語科の目標を具現化していくための研修を行
ってきました。授業研究協議会の中で参加者の皆様からもアイデ
アをいただき、さらに学びを深めていきたいと思っています。ま
た、講演は信愛大学教育学部子ども教育学科教授 岸田正幸先生
にお話をいただきます。学校等関係職員の皆様のご参加を心より
お待ちしております。

テーマ

言葉に着目させる国語科の授業づくり

日時

令和6年11月27日（水）

13:15～16:45（受付12:45～開始）

（事前配信：11月20日～11月27日）

会場

和歌山県立紀伊コスモス支援学校

申込み（11月18日締切）

- 1 左記 QR コード、または URL から申込みフォームへ。
- 2 申込みフォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
後日、申込みをされたメールアドレスに、申込み完了のメールが届きま
す。1週間が経っても返信がない場合は、お電話にてご連絡ください。
- 3 11月20日を目処に「事前配信」視聴用 URL と当日の駐車場等の案
内を添付したメールが届きます。ご確認ください。

感染症の状況により、内容を変更もしくは中止させていただく可能性があ
りますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

問い合わせ窓口：支援教育部 西浦

内容

1 事前配信 11月20日(水)～11月27日(水)

和歌山県立紀伊コスモス支援学校「学校概要」「研究概要」の動画配信を期間限定で実施します。

「学校概要」 校長 上村 弘幸

紀伊コスモス支援学校における在籍児童生徒の状況、本校教育目標や教育活動に関する概要をご説明いたします。

「研究概要」 実践研究部 中村 真由

今年度は学習指導要領解説や文部科学省著作教科書である「こくご☆」～「国語☆☆☆☆☆」を参考に、国語科の授業づくりについて研修等に取り組んできました。授業づくりで大切にしたいことや確認してきたことを含め、これまでの取り組みを研究概要で報告いたします。

2 授業研究協議会 (11月27日 13:15～15:30) 会場：本校

小学部・中学部・高等部の知的教育部門と、高等部の肢体教育部門の4授業のうち、いずれかのグループで本校教員とともに授業の動画視聴及び協議会に参加していただきます。協議会では、活発な意見交流になるよう少人数で話し合う場面を設定しておりますので、気軽に参加していただけたらと思います。少人数の話し合いで出た意見についてはグループ全体で共有し、助言者による講評をいただきます。各グループの詳細は、次ページに掲載していますので参考にしてください。

3 講演 (11月27日 15:45～16:45) 会場：本校

演題 「言葉に着目させる授業づくり～小学校 国語科の授業実践事例から～」

和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授 岸田 正幸 先生



プロフィール

県立の高等学校教諭で教鞭をとられた後、和歌山県教育庁学校教育課指導主事、教育企画課、学校教育課、総務課、県立学校課(課長)を経て、和歌山大学で教授を務められました。さらに学校教育局長を経て、和歌山県立桐蔭中学校・高等学校で校長を務められました。その後、大阪体育大学教授、そして現在は、信愛大学教育学部で教授として務められています。これまで、中央教育審議会教員養成部会の委員を歴任されたり、県内各地の学校等で国語科を中心とした指導助言や講演をされたり、校長会や教育委員会における講演、さらに全国多数の大学での講演等幅広くご活躍されています。

授業研究協議会 グループ

以下の4グループに分かれます。

小学部 知的教育部門	「言葉かくれんぼ」 指導助言者： 本校元校長 和歌山県教育委員会 学習指導支援員 田中 資則先生	授業者：★川添勝紀 谷口佳寿子 運営者：前田結子・山口直子 授業の概要： 3・4年生5名の集団です。特別支援学校学習指導要領国語科の小学部2段階の内容を学習しています。単語をまとまりで読み取ることが難しい児童もあり、児童の実態に差があるグループです。この单元では、言葉探しをしながら身近な言葉に着目して、語のまとまりを意識して文字並べ等を行い、言葉にはまとまりがあることに気づける学習に取り組んでいます。また発展的な学習として、濁点が身近な言葉の中にあることを自然に知り、語彙を増やし読める言葉が増えていくような学習にも取り組んでいます。
②中学部 知的教育部門	「オオカミと羊飼」 指導助言者： 和歌山大学教育学部 准教授 竹澤 大史先生	授業者：★鈴木翔悟 田伏珠佳 運営者：小山朱美・藤澤憲 授業の概要： 特別支援学校学習指導要領国語科の中学部1段階の領域や内容を学習している1年生5名の集団です。学習に対して前向きに取り組める生徒たちですが、長文になったり、登場人物が増えたりすると、書かれている内容を読み取ることが難しいです。この单元では、内容の読み取りの学習において、文章を表面的に音読するだけでなく、言葉、語彙、それらの使い方、意味理解などの力をつけてひとつひとつの言葉に着目できるように取り組んでいます。
③高等部 知的教育部門	「丁寧な言葉で話そう」 指導助言者： 和歌山信愛女子短期大学 保育科 教授 小滝 正孝先生	授業者：★広畑実実 笹山亜理菜 岡本洋平 運営者：西田幸生 阪部真希 授業の概要： 高等部3年生8名の集団で、特別支援学校学習指導要領国語科の中学部1段階の内容を学習しています。目上の人に対して友だち言葉で話す生徒や改まった場面に対して苦手意識のある生徒、経験したことは的確に答えることができるものの会話では一方的に話してしまう生徒、語彙は少ないですが、興味関心のあることを相手に多様な手段で伝えようとする生徒、言葉が不明瞭で相手に伝わりにくいですが学習に意欲的な生徒など、実態に幅のあるグループです。卒業後を見据えてこの单元では、職場や休日の場面において、友だちや目上の人と適切な言葉遣いで話をしてほしいと思い、ロールプレイなど場面を設定した活動的な学習を取り入れています。
④中学部 肢体教育部門	「にじいろのさかな」 指導助言者： 和歌山県教育委員会 県立学校教育課 特別支援教育室長 津村 孝幸先生	授業者：★泉川直紀 上田沙也佳 井谷有紀 運営者：西田涼・吉田有希子 授業の概要： 中学部2・3年生3名の小集団で、特別支援学校学習指導要領国語科の小学部1段階～2段階の内容を学習しています。3名とも発語はありませんが、他者を意識してやり取りを楽しもうとしている生徒たちです。日常生活では全介助ですが、学習面では2つの選択肢を視線で選んだり、問かけに手を上げて応えたり、動作で「はい」「いいえ」を伝えたりと、表情や自分なりの方法で応えることができます。視覚に制限があるなど、それぞれの実態は異なりますが、自分や他者の思いに気づき、思いの伝え方を知ったり、伝えることを実感したりすることで、言葉のもつ音や意味、やり取りの楽しさを感じ、今後もたくさんの人との関係を深めていけるよう学習に取り組んでいます。

授業者の★は、主指導者です。申込みフォームで、希望するグループを選択してください。